

TOYOINKGROUP

東洋インキグループ

# サステナビリティ データブック

2023

Sustainability Data Book 2023



## 東洋インキグループの理念

### 経営哲学

### 人間尊重の経営

### 経営理念

私たち東洋インキグループは、  
世界にひろがる生活文化創造企業を目指します。

- 世界の人びとの豊かさと文化に貢献します。
- 新しい時代の生活の価値を創造します。
- 先端の技術と品質を提供します。

### 行動指針

- お客様の信頼と満足を高める知恵を提供しよう。  
CS (Customer Satisfaction : お客様満足度)
- 多様な個の夢の実現を尊重しよう。  
ES (Employee Satisfaction : 社員満足度)
- 地球や社会と共生し、よき市民として活動しよう。  
SS (Society Satisfaction : 社会満足度)
- 株主権を尊重し、株主価値の向上に努め市場の評価を高めよう。  
ShS (Shareholder Satisfaction : 株主満足度)

(1993年4月制定 2014年4月改定)

## CSR憲章

私たち東洋インキグループは創業以来、モノづくり企業として製品・サービスを通じてお客様・社員の方々・社会を支える皆様に寄与する生活文化を共に創造し、信用と信頼を得ることを最優先に取り組んでまいりました。

今、私たちは、化学製造業を中核とする企業グループとなり、社会に更に大きな影響を及ぼしていることを改めて認識し、あらゆるステークホルダーの方々との良好な関係を、今まで以上に維持・強化することに努めています。改めて自らの活動を分析・評価し、人・社会・経済・環境の切り口からバランスの取れた経営を実践することで、常に有形・無形の価値を生み出し、高め、提供していくことが社会的責任を果たすための重要な課題であると認識しています。

東洋インキグループは、これからもより一層の公正で自由なビジネスを継続させ、未来に向かって持続的成長につながる経営に努めます。

(2005年4月制定 2018年1月改定)

## CSR行動指針

### 製品・サービスを通じた「価値」の提供

市場に対する新たな「価値」を創造し、人々の生活の質の向上、文化の発展および地球環境の改善に寄与する製品・サービスを提供することで、お客様とその先にいる消費者に向けて、最高の信頼と満足をお届けするよう努めます。

### 至誠を追求した事業活動

原料調達から製品販売にいたるすべての事業ステージにおいて、公正かつ適正な取引を行い、誠実を旨とした事業活動に努めます。その活動を通し健全な利益を生み出し、株主をはじめステークホルダーに還元します。

### 積極的なコミュニケーションと情報開示

様々な企業活動側面において、広く社会とのコミュニケーションを促進し、経営全般の情報を積極的かつ公正に開示します。

### 社会貢献活動への取り組み

社会的な価値のある生活文化の向上に奉仕すべく、本業を基盤とした社会貢献を行うとともに、地域との共生を目指した良き企業市民としての社会貢献活動を推進・支援します。

### 地球規模の環境保全の推進

すべての事業活動において環境負荷の低減に尽力します。また地球規模の環境問題を自身が担うべき最大の課題と捉え、その保全・保護に積極的に取り組みます。

### 快適で自己実現のできる職場環境の醸成

社員一人ひとりの個性と人格を尊重し、自主性と能力を十分発揮できる、働きがいのある、安全な職場環境づくりに努めます。国内・海外を問わず、人権を尊重し、差別のない労働環境を形成していくとともに、児童労働・強制労働など人道に反したことを認めません。

### コンプライアンスの徹底

国内・海外各国の法令はもちろん、国際条約や地域の社会規範を順守し、高い理性と良心と倫理観に基づいた判断と行動の徹底に努めます。

### 理想的な企業統治の構築

経営環境の変化やリスク管理に対して、より機動的かつ柔軟に対応できるグループ連峰経営体制を構築し、「社会から求められる企業の姿」を実現できる経営を目指します。

(2005年4月制定)

# サステナビリティデータブック2023について

## 編集方針

「サステナビリティデータブック2023」は、当社グループのサステナビリティに関する考え方と取り組みについて報告するツールです。すべてのステークホルダーの皆様にも網羅性をもって情報開示をするため、2022年版より、「E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)」の報告形式に変更して報告内容の充実を図っています。

また、制作に当たっては、各種ガイドライン・指標や社内も含めたステークホルダーとのダイアログにおけるご意見なども参考にしています。気候変動については「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に基づき、「統合レポート2022」および「統合レポート2023」に詳しく記載していますので、併せてご覧いただき、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

## 対象期間

2022年度(2022年1月1日～12月31日)

一部の情報は、2022年以前や2023年の内容を含みます。

## 対象範囲

- ・海外を含めた東洋インキグループ(P.93 グループ会社一覧)
- ・環境パフォーマンスデータは、国内関係会社およびISO 14001の認証を取得している海外関係会社と、一部のデータはISO 14001の認証を取得していない海外関係会社も含まれます。集計範囲は、P.72と各ページに記載しています。(ISO 14001の認証を取得している海外関係会社の生産量は、海外関係会社全体の約74.5%です。)

## 参考ガイドライン

- ・社会的責任に関する国際規格「ISO 26000」
- ・GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード
- ・SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)
- ・環境省「環境報告ガイドライン2018年版」

## 発行

日本語版：2023年9月(次回発行予定：2024年9月) 英語版：2023年11月予定(次回発行予定：2024年11月)

<お問い合わせ先>

東洋インキSCホールディングス株式会社 グループ広報室

〒104-8377 東京都中央区京橋2丁目2-1

E-MAIL：info@toyoinkgroup.com

## 情報開示の体系

### 事業・財務関連の情報

統合レポート (PDF/年1回発行)

- ・有価証券報告書
- ・コーポレート・ガバナンス報告書

<ウェブサイト>  
株主・投資家情報

### サステナビリティ関連の情報

- ・サステナビリティデータブック (PDF/年1回発行)

<ウェブサイト>  
CSR活動

### 東洋インキグループウェブサイト

 <https://schd.toyoinkgroup.com>

本報告書に関するご意見・ご感想はウェブサイトの「お問い合わせ」からお願いします。

#### 将来見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている意見や見通しは、報告書作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。このため将来の業績は当社の見通しとは異なる可能性があります。

# CONTENTS

東洋インキグループの理念、 CSR憲章・CSR行動指針	1
サステナビリティデータブック2023について	2
トップメッセージ	4
サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」	5

## 東洋インキグループのサステナビリティ

サステナビリティマネジメント	7
重要課題と活動状況	9
SDGsへの取り組み	11
ステークホルダーとのかかわり	13
社外からの評価	14

## 環境

環境マネジメント	15
環境調和型製品／LCAの活用	17
気候変動への対応	18
水資源管理	21
廃棄物管理	23
汚染防止	25
化学物質管理	27
生物多様性	29

## 社会

品質・安全性の確保	33
お客様満足(CS)の追求	35
人材マネジメント	36
ダイバーシティ&インクルージョン推進	40
ワーク・ライフ・バランスの推進	43
健康経営	45
労働安全衛生・保安防災	48
人権の尊重	51
サプライチェーンマネジメント	56
社会貢献活動	59


## ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	60
リスクマネジメント	62
コンプライアンス	67
税務	71
知的財産の管理	71

## ESGデータ集

環境	72
社会	82
ガバナンス	86
GRI内容索引	87
東洋インキグループの概要	93

<PDFの使い方>

- ・ CONTENTSの項目をクリックすると該当ページに移動します。
- ・  (リンクボタン) をクリックすると関連ページに移動します。